

常翔学園中学校・高等学校:1件

1) 英語4技能に対する生徒の能力向上と教員の適切な指導法の修得 [高校教頭、中学教頭、教務部]

【必要性・目的、実施計画等】

《必要性・目的》

2020年の大学入試から現行のセンター試験の内容が大きく変更となる。これまでの知識偏重から判断力・思考力を問う問題が多く出題される。中でも英語は4技能すべての向上を目指しており、英語検定やGTEC等民間の試験を併用することになる。そのため、ネイティブとの接触の機会を増やし、実践的な英語力を身に付けさせる必要がある。また、教員もそのことに対する適切な指導法を学ぶ必要がある。

《実施計画》

<高校>

- ・ 高校1年生の英語科授業に派遣のネイティブ英語教員を1名配置し、本校英語科教員とのチームティーチングを行う。また、そのネイティブ教員による英作文の添削指導も行う。
- ・ 高校1年生の英語科授業中に、1人1台のiPadを通じてネイティブとのオンライン英会話を行う。

<中学>

- ・ 総合的な学習の時間(JOSHO CAREER-UP CHALLENGE)を利用し、ネイティブ講師による英会話の授業を増やす。

<教員>

- ・ 英語教員に対し、英語スキル・指導技術の優れた人物による集中した校内研修を行う。

【具体的指標・効果（成果検証）】

<高校>

- ・ 卒業までに25%の生徒が英検2級以上に合格(2016年度卒業生は17%)、卒業までに準2級以上に70%が合格する。(2016年度卒業生は55%)

<中学>

- ・ 中学校全生徒のうち、英検3級以上の合格者120名以上(2016年度実績:88名)